



才便り

八月号

- 2020 -

残暑の足見舞申しさす

この半年余りの日々は軍回りのルービィを覗きこんだ
ような時に突然スロー映像を見せられてさう
な不思議な時間を迎えて来ると。時間は止ま
ることなく刻まれてさうだが私達があまりにも
速いスピードで走り回ってさうが地球は目を回してし
まったのかもしれない。私としてはまあはやり深呼吸吸
をうて国々をさう身体を伸ばして動くとさう
さて。今朝の近所の公園先に見えたとやめか
風に揺られて咲いていたラベンダーに揚羽蝶が遊びに
来たみたい。ソラでも舞う。子供が覗いた
気遣いはいさ。母は驚く程美しく優雅で完璧な
芸術作品に魅了されたひと時だった。
心の疲れたら効くおクスリは自然の中に沢山あふれてそ
癒しと気持ちよもらさす。夢中になさ何度
もさす。押し続けたいに奇跡的に最後の一枚だ
け振れてく。失敗は成印のものと。素晴らしい一枚に
感謝の舞うかた。ひと時に元氣一杯もらさす。
体調的には季節の変わり目は不満足になりやめ
の。無理のないように好きな音楽を聴き
自分に優しくしてあげさう。

小さなやれる事にさす。やれる事とさす
心の窓を少し開けて風に吹かれて。さす。さす。
前も向う。希望の光を見失わないように前進
する。さす。さす。さす。さす。さす。さす。

感謝の舞う。さす。

令和二年八月吉日

松本幸子

